

「バラ解説」をご利用いただくにあたり

この度はご採択を賜り、誠にありがとうございます。

つきましては、「バラ解説」をご利用いただく場合の留意点等、ご一読の程をお願い申し上げます。

従来「解答解説書」の問題点

- ・「解答解説書」を先に渡すと、「答え」を丸写しして…勉強にならない。
- ・かといって、1冊終えた後に渡しても…読まない。
- ・その都度「バラの解答解説」を用意しても…読まない。

★「解説」を読むことで学習効果上がるのに…読ませたい、考えさせたい。

「問題集」の「解説書」と「解答書」を分けたねらい

- 「バラ解説」でない場合の構成と使用例
構成（本書1冊／解答書1冊／解説書1冊）
・本書と解説書を同時に配布。

☆問題を解くにあたり、解説書を読みながら解きすすめていく…読む。

（「解答そのもの」は掲載していないので「丸写し」はできません）

1回ごとに配りたい場合

「バラ解説」の構成と使用例

- 構成（本書1冊／解答書1冊／バラ解説 問題数分／解答PDF）
・本書の一題を解いた後、バラ解説（一回分）を配布。
必要によって、本CD-R内の「解答PDF」を掲示。

☆問題は先ず自力で解く。

頭に残っている内に、解説書を…考える、読む。

熟読する必要はありませんが、上記いずれの場合も「解説を読む」ことを習慣づけることにより、国語の設問に対する「既視感」や「気づき」等、大幅な学力の向上が期待できるはずです。

1

仮名草子

伊曾保物語

本書↓p. 4 / 解説書↓p. 4

問二

① イタワリ ② ヨツテ ③ オモイケン ④ ワキマエズ

〈3点×4〉

問三

① ワ行エ段 ② ワ行オ段

〈3点×2〉

問四

(1) ① ワ行 ② ヤ行 ③ ア行 ④ ア段 ⑤ イ段 ⑥ ウ段 ⑦ エ段 ⑧ オ段

〈1点×3〉

				ア段	イ段	ウ段	エ段	オ段
ワ行	わ	み	う	え	を			
ヤ行	や	い	ゆ	え	よ			
ア行	あ	い	う	え	お			

(2) ① いる ② すえ ③ かかく

〈1点×6〉

④ ゆうれい ⑤ ちようど ⑥ おうぎ

問五

その膝に登り舐りまはる

〈6点〉

問六

(子犬のように) 主人にかわいがられたいと思った(から)。(15字)

〈10点〉

問七

イ

〈7点〉

問二

ア || エ エ || ウ

〈3点×2〉

問三

(1) イ || いうよう ウ || なんじ

〈2点×2〉

(2) イ || ユーヨー ウ || ナンジ

〈2点×2〉

問四

(1) a || コ b || オ c || ア d || ア e || イ f || カ

〈1点×6〉

(2) こ の 亀 を もとの 海 に 返し けり

〈4点〉

問五

1 || ク 2 || ケ 3 || イ 4 || カ 5 || ウ

〈1点×10〉

問六

ア 6 || エ 7 || オ 8 || キ 9 || ア 10 || コ

〈6点〉

問七

長生きする〔別解〕命の長い

〈10点〉

3

説話

 古本説話集
こほんせつわしりゅう

本書↓p. 8 / 解説書↓p. 12

問一

① 和泉式部 ② 和泉式部 ③ 保昌 ④ 保昌

〈2点×4〉

問二

A 鹿が B 時 C を D が E を F が

〈2点×6〉

問三

鹿がひどく鳴いているので

〈8点〉

問四

① ア ② エ

〈7点×2〉

問五

イ

〈8点〉

問二

(1)

	基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用行
㉑	いふ	い	は	ひ	ふ	ふ	へ	へ	八行
㉒	あやまつ	あやま	た	ち	つ	つ	て	て	夕行
㉓	負ふ	負	は	ひ	ふ	ふ	へ	へ	八行

〈1点×3〉

問三

(2)

1 || 問は

2 || あつまり

3 || あふ

4 || 思へ

5 || 行け

〈2点×5〉

① || 子猿 ② || 大猿

〈5点×2〉

問四

大猿が子猿を木の股に置こうとすること。(19字)

〈12点〉

問五

ア

〈7点〉

問六

ウ

〈8点〉

問二

㉞ || エ ㉟ || ア

〈3点×2〉

問三

(1) ㊱ || ナ行下二段活用・已然形

〈3点×3〉

㊲ || ヤ行上二段活用・連用形

㊳ || ヤ行下二段活用・連体形

〈1点×2〉

(2)

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の種類
寝	(寝)	ね	ね	ぬ	ぬる	ぬれ	ねよ	ナ行下二段活用
過ぐ	過	ぎ	ぎ	ぐ	ぐる	ぐれ	ぎよ	ガ行上二段活用

問四

ウ

〈6点〉

問五

見つけることができない。

〈6点〉

問六

いとあまたくもてゆかむ

〈8点〉

問七

口惜しき(4字)

〈5点〉

問八

エ

〈8点〉

6 説話

古今著聞集 ここんちよもんじゆう

本書 ↓ p. 14 / 解説書 ↓ p. 24

問二

ア

イ

〈3点×2〉

問三

〈2点×4〉

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の種類
㊦	(居)	ゐ	ゐ	ゐる	ゐる	ゐれ	ゐよ	ワ行上一段活用
㊧	(着)	き	き	きる	きる	きれ	きよ	カ行上一段活用
㊨	(蹴)	け	け	ける	ける	けれ	けよ	カ行下一段活用
㊩	(見)	み	み	みる	みる	みれ	みよ	マ行上一段活用

問四

(1) ア

〈6点〉

(2) ・鷹を手に据ゑたるほど (10字)

〈6点×2〉

・平笠を着たるほど (8字)

問五

エ

〈10点〉

問六

エ

〈8点〉

問二

(ア) 大切に育てる (イ) 下旬

(4点×2)

問三

(b)

(6点)

問四

(1)

(1点×3)

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の種類
あり	あ	ら	り	り	る	れ	れ	ラ行変格活用
侍り	侍	ら	り	り	る	れ	れ	ラ行変格活用
死ぬ	死	な	に	ぬ	ぬる	ぬれ	ぬ	ナ行変格活用

問五

(2) 1 連用形 2 未然形 3 連体形

(2点×3)

問六

ア

(7点)

問六

(1) 空高く飛び上がっていく蛍。(13字)

(10点)

(2) ア

(10点)

8 歌物語

大和物語 やまとものがたり

本書 ↓ p. 18 / 解説書 ↓ p. 32

問二

ア || ア イ || エ

〈3点×2〉

問三

(1) a || イ b || カ c || ア d || イ e || イ

〈2点×5〉

問四

(1) 〈1点×2〉

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の種類
来	(来)	こ	き	く	くる	くれ	こ(こよ)	カ行変格活用
す	(す)	せ	し	す	する	すれ	せよ	サ行変格活用

(2) 1 || おはし / イ 2 || せ / ア 〈1点×5〉

3 || せ / ア 4 || 持て来 / ウ 5 || 来 / ア

〈3点×2〉

問五

① || イ ③ || エ

〈7点〉

問六

その子を、こちらへ連れて来い

〈6点〉

問七

ア

〈8点〉

問八

児との結婚の約束。(9字)



日記

と
さ
に
つ
き
士
佐
日
記

本書 ↓ p. 20 / 解説書 ↓ p. 36

問一

A || ける B || る

〈5点×2〉

問二

(1) ある

〈10点〉

問三

(2) 鳥の羽のようであるのだろうか。

〈10点〉

問四

エ

〈10点〉

イ

〈10点〉

10 説話

宇治拾遺物語

本書↓p.22 / 解説書↓p.40

問二 ㊦ 消え去る ㊧ まさか

〈4点×2〉

問三 ㊨ ク活用・終止形 ㊩ シク活用・連体形

〈3点×2〉

問四 ㊪ 白 ㊫ シク活用・終止形 ㊬ シク活用・連体形 ㊭ 白 ㊮ シク活用・終止形 ㊯ シク活用・連体形 ㊰ 白 ㊱ シク活用・終止形 ㊲ シク活用・連体形 ㊳ 白 ㊴ シク活用・終止形 ㊵ シク活用・連体形 ㊶ 白 ㊷ シク活用・終止形 ㊸ シク活用・連体形 ㊹ 白 ㊺ シク活用・終止形 ㊻ シク活用・連体形 ㊼ 白 ㊽ シク活用・終止形 ㊾ シク活用・連体形 ㊿ 白 ㊽ シク活用・終止形 ㊾ シク活用・連体形 ㊿ 白

〈1点×3〉

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の種類
白	白	から <small>(く)</small>	かり <small>く</small>	し	かる <small>き</small>	けれ	かれ <small>○</small>	ク活用
悲し	悲	しから <small>(しく)</small>	しかり <small>しく</small>	し	しかる <small>しき</small>	しけれ	しかれ <small>○</small>	シク活用
いみじ	いみ	じから <small>(じく)</small>	じかり <small>じく</small>	じ	じかる <small>じき</small>	じけれ	じかれ <small>○</small>	シク活用

問五 ウ ㊽ シク活用・終止形 ㊾ シク活用・連体形 ㊿ 白

〈7点〉

問六 仏の正体が大狸であったこと。(14字)

〈10点〉

問七 ア・カ

〈8点×2〉

問二

ア || エ

イ || ウ

〈2点×2〉

問三

a || エ

b || エ

c || イ

〈2点×3〉

問四

(1)

〈1点×2〉

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の種類
遙かなり	遙か	なら	なり	なり	なる	なれ	(なれ)	ナリ活用
堂々たり	堂々	(たら)	たり	たり	たる	(たれ)	(たれ)	タリ活用

(2) 1 || オ 2 || ア 3 || イ 4 || ウ

〈2点×4〉

問五

ウ

〈8点〉

問六

イ

〈8点〉

問七

(筆筈と歌を聞いて) 敦兼の風雅な心映えを感じ取った(点。)(15字) (14点)

問二

ア 不審だ ① 理解する

〈4点×2

問三

a 〓 ナリ活用形容動詞 / 「ほのかなり」 / 連用形

〈1点×10

b 〓 ク活用形容詞 / 「若し」 / 連体形

c 〓 ナ行変格活用動詞 / 「死ぬ」 / 連用形

d 〓 シク活用形容詞 / 「いみじ」 / 連用形

e 〓 ヤ行上二段活用動詞 / 「老ゆ」 / 連用形

f 〓 シク活用形容詞 / 「恐ろし」 / 已然形

g 〓 ラ行変格活用動詞 / 「あり」 / 連体形

h 〓 サ行変格活用動詞 / 「す」 / 未然形

i 〓 カ行上一段活用動詞 / 「着る」 / 連用形

j 〓 ガ行下二段活用動詞 / 「逃ぐ」 / 連用形

問四

問五

イ 死んだ主人の髪の毛でかつらを作るため。(19字)

〈5点

問六

問七

〈10点

問二

① ㉞イ・猛く ㉞㉞ウ・乗り ㉞㉞エ・進み ㉞㉞ア・続き

〈1点×8〉

問三

1 ㉞打つ／ウ 2 ㉞解い／ア 3 ㉞いたう／イ

〈1点×3〉

問四

(1) ㉞ウ

〈6点〉

(2) ㉞ウ

〈8点〉

問五

能登殿の、安芸太郎と次郎を道連れにして自害しようとする行為。

〈30字〉

問六

エ

〈15点〉

問六

エ

〈10点〉

問一

- ① a || カ
 ② b || ウ
 ③ c || ア
 ④ d || イ
 ⑤ e || オ

〈2点×5〉

問二

エ

〈8点〉

問三

ア

〈8点〉

問四

食物足つて乏しきことなし。

〈8点〉

問五

おっしゃるけれども

〈8点〉

問六

イ

〈8点〉

15

随筆

花月草紙かげつそうし

本書 ↓ p. 32 / 解説書 ↓ p. 60

問二 ア || 効果 イ || 時

〈4点×2〉

問三 a || エ b || ウ c || イ d || ア e || カ

〈2点×7〉

f || オ g || イ

問四 自分が秋に病気になること

〈10点〉

問五 そのようにおっしゃるならば

〈8点〉

問六 ウ・オ

〈5点×2〉

問二

六月・みなづき

〈2点×2〉

問三

① 〓 (言ってみても) 仕方がない ㊦ 〓 頼りにする・あてにする

〈3点×2〉

問四

③ 〓 過去・連体形 ④ 〓 過去・連体形

〈3点×2〉

問五

(1)

〈1点×2〉

	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続
けり	(けら)	〇	けり	ける	けれ	〇	連用形 には未然形にも
き	(せ)	〇	き	し	しか	〇	連用形 (カ変・サ変)

問六

イ

 (2) 1 〓 過去・已然形 2 〓 過去・連体形 3 〓 詠嘆・終止形
 〈2点×3〉

問七

誰が一人で旧都に残ろうか、いや誰もいない。

〈6点〉

問八

多くの家が集まり栄えていたが、日が経つにつれ荒れていく様子。(30字)

〈15点〉

問二

ア || 様子 イ || このような

〈3点×2〉

問三

a || 完了・連用形 b || 完了・終止形 c || 強意・終止形

〈3点×3〉

問四

(1)

ぬ	つ	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続
な	て							
に	て							
ぬ	つ							
ぬる	つる							
ぬれ	つれ							
ね	てよ							
	連用形							
	連用形							

〈1点×2〉

問五

(2) 1 || 完了・連体形 2 || 完了・連用形 3 || 強意・終止形

〈2点×3〉

問六

エ 縁側に腰掛ける無礼な態度をとったから。(19字)

〈12点〉

問七

ウ 縁側に腰掛ける無礼な態度をとったから。(19字)

〈9点〉

問二

ア || ついで ① || 理由

〈3点×2〉

問三

① || 完了・連体形 ② || 存続・連体形 ③ || 存続・已然形

〈3点×3〉

問四

(1)

〈1点×2〉

	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	
り	たら	たり	たり	たる	たれ	たれ	※特殊
たり	たら	たり	たり	たる	たれ	たれ	連用形
	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続

※「り」の接続：(サ変)型活用語の(未然形)及び、(四段)型活用語の(已然形・命令形)。

問五

(2) 1 || 完了(存続)・連体形 2 || 存続・連体形
高貴な人がお亡くなりになった

〈8点〉

問六

とるに足りない身分の者がどれくらい亡くなったか(ということ)。(23字)

〈15点〉

問七

エ

〈6点〉

問二

ア || 評判 ① || 事情・旨

〈3点×2〉

問三

① || 尊敬・連用形 ② || 使役・連用形

〈3点×2〉

問四

(1) ① || 未然形 ② || 連用形 ③ || 終止形 ④ || 連体形 ⑤ || 已然形 ⑥ || 命令形
接続
四段・ナ変・ラ変
の未然形
右以外の未然形
未然形

〈1点×4〉

問五

(2) ウ 1 || ウ 2 || ア 3 || エ 4 || イ
ア
京からこっそり取り寄せた水でふたたび昭乗に文字を書かせる(という方法)。(28字)

〈2点×4〉
〈4点〉
〈6点〉

問七

エ
京からこっそり取り寄せた水でふたたび昭乗に文字を書かせる(という方法)。(28字)

〈7点〉
〈9点〉

サ変「ず」	せ	し	す	する	すれ	せよ	
しむ	しめ	しめ	しむ	しむる	しむれ	しめよ	未然形
さす	させ	させ	さす	さする	さすれ	させよ	右以外の未然形
す	せ	せ	す	する	すれ	せよ	四段・ナ変・ラ変の未然形
	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続

問二 ㊦ お召しになる ㊧ 思案する

〈2点×2〉

問三 ㊨ ㊩ ㊪

〈3点×2〉

問四 (1)

〈1点×3〉

	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続
む	○	○	む	む	むめ	○	未然形
むず	○	○	むず	むずる	むずれ	○	未然形
べし	べから (べく)	べかり べく	べし	べきる	べけれ	○	終止形 ラ変型には連体形

(2) 1 ㊫ 2 ㊬ 3 ㊭ 4 ㊮

〈2点×4〉

問五 I 強盗「が」 II 奪い取った「小袖をわが物と思う。」

〈5点×2〉

問六 ㊯ ㊺

〈4点×2〉

問七 差し上げよう。

〈5点〉

問八 ア

〈6点〉

問二 問三

(1) ウ

〈3点〉
〈1点×2〉

けむ	らむ	未然形	接続
○	○	連用形	終止形 (ラ変型には連体形)
○	○	終止形	
けむ	らむ	連体形	
けむ	らむ	已然形	
けめ	らめ	命令形	
○	○		
連用形			

〈2点×4〉

問四

(1) はつきりと答える人さえいない。

〈7点〉

問五

(2) 富士の山から煙が絶えた年。(13字)

〈10点〉

問六

ア

〈10点〉

問二

ア 驚きあきれる イ 大声で騒ぐ

〈3点×2〉

問三

① ア ② ア ③ カ ④ エ ⑤ オ

〈2点×5〉

問四

(1)

〈1点×3〉

断定 なり	断定 なり	偏・推定 なり	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続
たり	たり	なり	○	(なり)	なり	なる	なれ	○	終止形 (ラ変型には連体形)
たら	たり	なり			なり	なる	なれ		体言
	と	に							体言・連体形
									体言

(2) 1 〓 オ 2 〓 ウ 3 〓 ア 4 〓 ア

〈1点×4〉

問五

大勢で来る音がするようだ。

〈5点〉

問六

自分が座るはずの場所に新しい不動尊が座っていたから。(26字)

〈15点〉

問七

エ

〈7点〉

問二

㊦ || 結婚する ㊧ || 並ひととおりだ

〈4点×2〉

問三

(1) 発音 || アンメレ 音便を使わない形 || あるめれ

〈2点×2〉

問四

(1) ア / 活用の種類 || シク (活用) 活用形 || 連体 (形)

〈2点×2〉

めり	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続
○	(めり)	めり	める	めれ	○	終止形 (ラ変型には連体形)	

(2) 1 || ある / あるそうな

〈2点×2〉

2 || をかしかる / おもしろいはずのことだろう

問五

ア

〈8点〉

問六

かぐや姫の見たたい物を持つてくること。(18字)

〈13点〉

問七

エ

〈8点〉

問二

① 比況・連用形 ② 反実仮想・未然形

〈3点×2〉

問三

(1)

〈1点×4〉

	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	接続
まし	ましか (ませ)	○	まし	まし	ましか	○	未然形
まほし	(まほしく)	まほしく	まほし	まほしき	まほしけれ	○	未然形
たし	(たく)	たく	たし	たき	たけれ	○	連用形
たから	たから	たかり	○	たかる	○	○	体言・連体形 助詞「が・の」
ごとし	(ごとく)	ごとく	ごとし	ごとき	○	○	

問四

まったく知らないので

〈6点〉

問五

(1) このような心を起こさなかったならば、極楽、天上界にもきつと生まれただろうに。

〈8点〉

(2) 敵のことを子孫の代までも恨み続ける心。(19字)

〈8点〉

問六

ア

〈10点〉

(2) 1 実現不可能な願望 2 願望 3 願望 4 例示 〈2点×4〉

27

説話

十訓抄
じゅっまんしやう

本書 ↓ p. 56 / 解説書 ↓ p. 108

問二

㉗ || 仏道修行をする ① || 筆跡

〈3点×2〉

問三

㉘ || 受身・連用形 ㉙ || 意志・終止形

〈3点×4〉

㉚ || 使役・連用形 ㉛ || 打消・連用形

問四

1 || 尊敬 2 || 反実仮想 3 || 打消推量 4 || 願望

〈2点×4〉

問五

帝に先立たれ申し上げたので、

〈6点〉

問六

エ

〈5点〉

問七

帝の死を悲しむ涙。(9字)

〈5点〉

問八

ウ

〈8点〉

問二

㊦ ㊦すばらしい ㊦ ㊦ああひどい

〈3点×2〉

問三

(1) ㊦ ㊦完了の助動詞「たり」終止形

〈2点×2〉

㊦ ㊦完了の助動詞「ぬ」連体形

(2) ㊦ ㊦落ち(タ行上二段活用動詞「落つ」連用形)／に(完了の助動詞「ぬ」

連用形)／けり(過去の助動詞「けり」終止形)

〈2点×3〉

問四

1 ㊦ ㊦いらつしゃつたのだろう

〈2点×4〉

2 ㊦ たなら 3 ㊦ あつた 4 ㊦ たい

問五

ウ

〈4点〉

問六

(1) 刈り落としてしまった。

〈4点〉

(2) 1 ㊦ 扇

〈4点〉

2 ㊦ 身分をわきまえず無礼だと怒つた(15字)

〈7点〉

問七

イ

〈7点〉

問二 ㉞ || 一般に ㉟ || めったにない

〈3点×2〉

問三 ㊱ || 婉曲・終止形 ㊲ || 存続・連体形 ㊳ || 推量・連体形

〈3点×3〉

問四 1 || 推定 2 || 打消推量 3 || 比況 (例示)

〈2点×3〉

問五 逢坂の関の清水は走井と同じものではない。

〈6点〉

問六 ア

〈6点〉

問七 どうしてご案内申し上げないだろうか、いやご案内申し上げますよう。

〈6点〉

問八 エ

〈11点〉

問一

㊦ ㊦むなしい ㊦ ㊦たがいに

〈2点×2〉

問二

あしびきの

〈2点〉

問三

A ㊦あしびきの 山鳥の尾の しだり尾の
B ㊦みかの原 わきて流るる いづみ川

〈2点×2〉

問四

「枯れ」と「離れ」

〈2点×2〉

問五

・長雨が降っていた間に ・もの思いにふけていた間に

〈3点×2〉

問六

(1) 1 ㊦ア 2 ㊦オ 3 ㊦ウ 4 ㊦エ 5 ㊦イ

〈1点×5〉

(2) 1 ㊦「秋」と「飽き」 2 ㊦「松」と「待つ」

〈2点×2〉

問七

(1) 初句切れ

〈2点〉

(2) エ

〈3点〉

問八

「滝」 ㊦「流れ」 「音」 ㊦「聞こえ」

〈2点×2〉

問九

A ㊦カ B ㊦エ C ㊦イ D ㊦ウ E ㊦ア F ㊦オ

〈2点×6〉